

では、その「自信」と「強さ」は、どうすれば身につくのか

謙虚な姿勢を行じると、心に自信が生まれ

感謝の姿勢を行じると、心が強くなっていく

人間、自分に本当の自信がないと、謙虚になれない。

人間、自分が本当に強くないと、感謝ができない。

その二つが真実であるならば、

では、どうすれば、その「自信」と「強さ」を身につけることができるのか。

もとより、この問いに対しては、次の二つの答えが王道なのでしよう。

「人生において成功体験を積むこと」「人生において困難に鍛えられる体験を積むこと」  
しかし、実は、不思議なことに、素朴な日々の行ぎょうを続けることによって、

「静かな自信」と「静かな強さ」が身についていくのです。  
なぜなら、この二つの真実は、その逆も真実だからです。

日常において、謙虚な姿勢を大切にして歩むとき、静かな自信が生まれてくる。

日常において、感謝の姿勢を大切にして歩むとき、静かな強さが身についてくる。

ただし、ここで言う「謙虚な姿勢」「感謝の姿勢」とは、

単に謙虚や感謝を装った表面的な姿勢ではなく、心を込めたものでなければならぬ。

それゆえ、この「素朴な日々の行」とは、ある意味、「最も厳しい行」でもあるのです。